

講社通信

近江神宮日供神饌講
新版第三十二号
平成三十年十二月十日

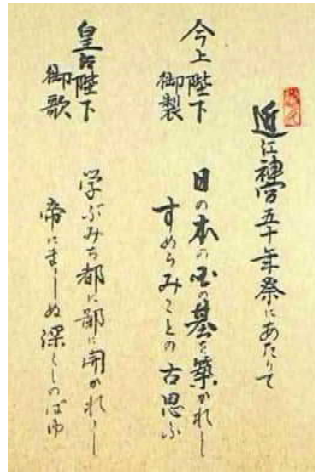
天皇陛下ご在位三十年

天皇陛下は、昭和天皇の跡を継いで昭和六十四年一月七日践祚され、翌八日平成と改元、明新春をもってご在位満三十年となります。四月末をもってご譲位の運びとなりますが、その前にご在位三十年を寿ぎたい次第です。

ご践祚の翌年の平成二年は近江神宮御鎮座五十年の年であり、式年大祭に合わせて五十年祭に際しての御製御歌を寄せられました。ちようどご即位大札・大嘗祭を控えた直前のことでした。

御製 日の本の国の基を築かれしすめらみことの古思ふ

御歌 学ぶみち都に鄙に開かれし帝にましぬ深くしのばゆ



皇后陛下の御歌は、御歌集

『瀬音』では「深くしのばゆ」が「遠くしのばゆ」とな

っており、収録にあたって推敲されたことが伺われます。(写真は佐藤宮司の謹書)

その後、両陛下は平成六年

十月二十六日に近江神宮にご

参拝にられました。それ以前には昭和五十四年に皇太子・同妃両殿下としてご参拝、さらにその前の三十四年にも、この時は皇太子殿下お一人でご参拝になっています。

湖信会六十周年記念行事

大津市内の十社寺（浮御堂・西教寺・日吉大社・延暦寺・近江神宮・三井寺・建部大社・石山寺・岩間寺・立木観音）で構成される



湖信会（こしんかい）が、昭和三十三年に設立されてから満六十年となり、十社寺の代表者が一堂に会し、九月十五日、近江神宮で神仏合同祈願祭が行われました。

近江神宮の権宮司が斎主となり、祝詞奏上に続いて、天台座主・森川宏映猊下による表白奏上、般若心経奏上、西教寺関係者でもある中島社中の皆様による献花・献茶、巫女の豊栄の舞が行われ、琵琶湖の恵みに感謝するとともに、湖国滋賀県・大津市の発展と観光振興、県民・市民の家内安全を祈願しました。

第二部の記念コンサートでは、延暦寺の関係者による天台声明、龍笛・フルート・よし笛・キーボードとソプラノによる「神の宮く母なる湖の祈り」、岩坂富美子氏の作・作曲による創作音楽物語「ヤマタノオロチ」社に響く古事記の世界」が行われ、参加者一同、神仏両様、和洋折衷の音楽世界に浸りました。

また加盟各社寺で収蔵品の特別公開や企画展が期間限定で行われ、近江神宮では通常左右二隻のうち一隻だけ展示している、江戸中期の奇想の画人といわれる曾我蕭白「楼閣山水図屏風（月夜山水図 重要文化財）」



の高精度複製品を左隻・右隻同時公開しました。関連して大津市歴史博物館では、「神仏のかたち」湖都大津の仏



時計館宝物館の新展示品

時計館宝物館二階の一部を展示替えし、昨年奉納の絵画数点を新たに展示品に加えました。鈴木靖将氏の「大津京逍遥」五部作のうち一点、フランス人画家マークエステル氏の「水海（おうみ）大津宮で平和を願う天智天皇」、明治の歴史画家・小堀鞆音（こぼりともと）氏の「燃土燃水献上図」、また従来七月の燃水祭の当日のみ直会会場に展示されていた前田青邨氏のリトグラフ「燃土燃水献上図」を常設展示しています。



小堀鞆音「燃土燃水献上図」

舎利容器内納置品 企画展図録より)

像と神像」と題する企画展が開催され、湖信会加盟十社寺の仏像や神像を中心として、大津市内の神社仏閣に伝わる宝物が展示されました。近江神宮からは、崇福寺跡出土の国宝・舎利容器と無文銀銭等の納置品が一括出陳されました。今回の展示では、舎利容器に納められた舍利・刺玉・水晶・金箔などもよくわかるように展示されました。

九月末には二十四号と台風の上陸も続き、各地に被害をもたらしました。被災された皆様にはお見舞い申し上げます。近江神宮の境内は、二十四号はそれほどものではありませんでしたが、二十一号では、大木が数本根元から倒れるなど、昨年十月の台風が続いて倒木がかなりの数になりました。幸いに建物の被害は、一部銅板が剥がれ、瓦が少し動いた程度でしたが、兼務の鞍掛神社の本殿の屋根が破損するなど、各地の社寺では倒木が建物にかかって倒壊した例も報告されています。神社の境内に樹木・森はなくてはならないものですが、このような被害にもつながります。

年末年始の祭典等

- 十二月十三日午前九時 門松立て
- 十二月二十日午前九時 煤払祭
- 十二月二十三日午前十時 天長節祭
- 十二月三十一日午後三時 年越大祓式(続いて) 除夜祭
- 一月一日午前〇時 歳旦祭(さいたんさい)
- 一月一日午前七時二分 初日の出遥拝式
- 一月二日午前八時三十分 日供始祭(につくはじめさい)
- 一月三日午前八時三十分 元始祭(げんしさい)
- 一月五日午前十時 かるた名人位クイーン位決定戦
- 一月六日午前九時 かるた祭
- 一月六・十三日 高松宮記念杯全国競技かるた大会
- 一月七日午前九時 昭和天皇祭遙拝式
- 一月十日午前八時三十分 天智天皇祭(天智天皇のご命日)
- 一月十五日午前十時 古神札焼納祭
- 二月三日午前十時 節分祭
- 二月十一日午前十時 紀元節祭

台風二十一号

本年は七、八月の猛烈な暑さに続き、九月初めの台風二十一号、

講社通信は近江神宮ホームページでカラーで見られます。

<http://www.oumi.jingu.org/> 「日供神饌講」ページ